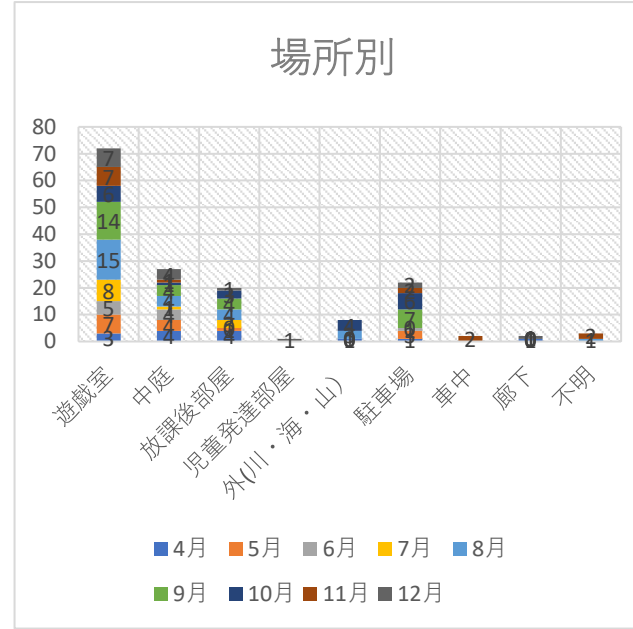
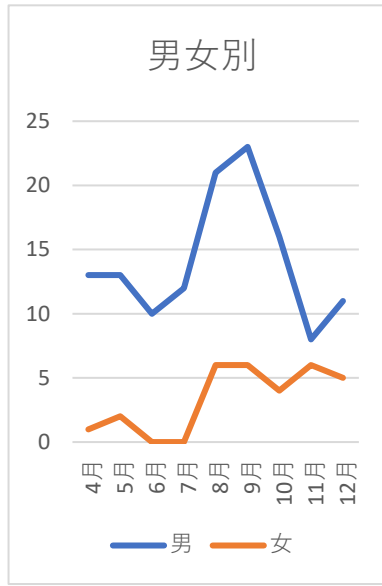
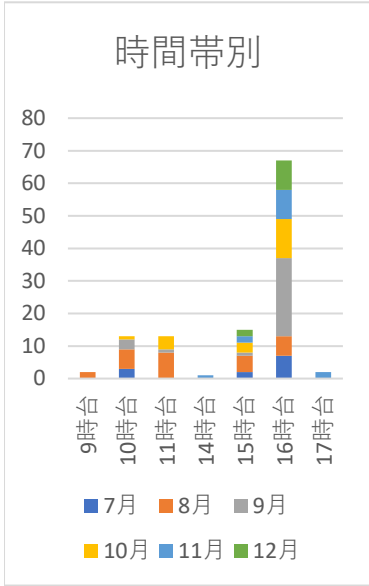


4月～12月事故報告統計分析（放課後）



月	事故の分類（何が合った）												
	転倒	転落	衝突	打撲	指はさみ	外傷(擦り傷・切り傷)	捻挫	不明	窒息・誤嚥・溺水	喫食・誤食・誤薬・アレルギー	感染症(発熱・嘔吐)	車内トラブル・交通事故等	その他(脱走・他害行為など)
4月	4	1	2			1				1			5
5月	3		1	2		2	1					3	3
6月	1					3						1	5
7月	1	4		1		5							1
8月	3	4	2	5		8	1			1			3
9月	1	1	1	9		8	1			1		2	5
10月	7			2		3					2	2	4
11月	2	1		1	2	2	1	1				2	2
12月	4		2	3		3	2						2

月	理由			
	活動内容・	要因の遊具・	子ども同士の	不明
4月	6	3	4	1
5月	7	6	2	0
6月	2	3	5	0
7月	4	4	3	1
8月	9	10	4	4
9月	8	10	10	1
10月	7	8	2	3
11月	5	3	3	3
12月	7	8	1	0

放課後の事故発生件数も減少傾向ではある（9月29件→12月16件）

カンファレンスや当日ミーティングの中で、そ児童への支援方を共通理解し、当日の状態から必要に応じて可能な限り、マンツーマン対応を進めている部分も事故の減少につながっている。

12月の感染症の流行に対して、送迎時・活動時の体温測定、こまめな水分補給、マスク着用など、実施している。今後、嘔吐下痢等へ対応も検討は必要かと思われる。

環境要因による事故発生は、一輪車使用時の転倒による擦り傷等が出ているので、使用時の約束事（ヘルメット・膝当ての使用、初心者の練習場所の確保など）を決めていく。